

モータースポーツ初、地域密着強化「元気日本」をPR

フォーミュラ・ニッポン(FN)などに参戦している「ル・ボージェータースポーツ」(坪松唯夫代表)は12日、チーム本拠地(栃木県茂木町)を構える地元との関係をより強化した「とちぎル・ボージェータースポーツ」として2012年シーズンに挑むことを発表。レース活動を通じて「元気度日本」をPRしていき方針を明らかにした。チーム名称に組み込むほど地域と密接な関係を築いたのは、日本のレース界では異例だ。

国内トップカテゴリに参戦するチームとして唯一、栃木県に本拠地を構えるル・ボージェが、ユニークな挑戦を開始することになった。チーム名称に「とちぎ」を冠し、レース活動を通じて地元ル・ボージェという運営方針を取っており、昨年11月には「とちぎ未来大使」に就任し、道の駅などのPR活動や、栃木県内シ

ル・ボージェ

TOCHIGI Le Beausset Motor sports

もてぎも歓迎



「とちぎ」を背負ってF・ニッポンに挑む嵯峨宏と坪松監督(ル・ボージェ提供)

「とちぎル・ボージェ」が栃木県、そして茂木町を代表してフォーミュラ・ニッポンに参戦されることは、茂木町民はもとより、茂木を訪れる方々、そして日本中に元気を与えられるものと信じております」と茂木町の古口達也町長はメッセージを寄せた。ツインリンクもてぎを擁する「モータースポーツの町」を標榜するだけに、もう手を挙げて大歓迎だ。

「とちぎ」を背負って走る今年、いっそう力が入ります。F3時代からタッグを組むチームとともに、とちぎのためにも奮闘する覚悟だ。

(田村尚之)

「とちぎル・ボージェ」が、フォーミュラ・ニッポンに参戦する。これは、茂木町民はもとより、茂木を訪れる方々、そして日本中に元気を与えられるものと信じております」と茂木町の古口達也町長はメッセージを寄せた。ツインリンクもてぎを擁する「モータースポーツの町」を標榜するだけに、もう手を挙げて大歓迎だ。

「とちぎ」を背負って走る今年、いっそう力が入ります。F3時代からタッグを組むチームとともに、とちぎのためにも奮闘する覚悟だ。

トップからカートまで若手育成が目的
○「とちぎル・ボージェ」の参戦体制は、FNの嵯峨宏(28)を筆頭に、スーパーFJもてぎ選手権の中村ひかる(20)と山下健太(16)、カートのもてぎ選手権MAXシニアクラスに挑む長谷川優太(20)と幅広い。「トップカテゴリからカートまでが一体となったチームにする」ことで、ステップアップという目標を明確にし、若手育成に取り組んでいる」と坪松代表。特に入門カテゴリでは地元周辺レースの活性化を願う強い思いがある。



カートの長谷川(右から2人目)



スーパーFJに出場する山下(右から2人目)と中村(同3人目)